

会 議 録

会 議 名	第 2 5 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 4 回		
事 務 局	公民館本館		
開 催 日 時	令和元年 9 月 3 日 (火) 午前 1 0 時～午前 1 0 時 5 0 分		
開 催 場 所	公民館本館 学習室 A		
出 席 委 員	生馬委員 苅込委員 岸川委員 照井委員 宗像委員		
欠 席 委 員	藤原委員		
事 務 局 員	大久保係長 小磯主査 倉澤主任 溝江非常勤		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
	<p>1 主催事業について</p> <p>(1) 事業の報告について</p> <p>①市民講座「夏休み！親子で考えるお金のしくみ」について</p> <p>②市民映画会について</p> <p>(2) 事業の計画について</p> <p>市民講座について</p> <p>2 その他</p> <p>3 配付資料</p> <p>(1) 市民講座「夏休み！親子で考えるお金のしくみ」報告資料</p> <p>(2) 市民映画会報告資料</p> <p>(3) 令和元年度市民講座「冬を元気にのりきる温活のススメ」実施要項(案)</p>		

会 議 結 果

(要点筆記)

司会：岸川委員

1 主催事業について

(1) 事業の報告について

①市民講座「夏休み！親子で考えるお金のしくみ」について

倉澤主任 市民講座「夏休み！親子で考えるお金のしくみ」を8月30日及び9月1日の全2回実施し、14組35人が参加した。集客については、夏休みに入る直前に近隣の小学校の1年生から3年生の全家庭にチラシを配布し、実施日も夏休みの最終週に設定した。保護者からは、自分が子どものころに電子マネーが普及していなかったのではどのように子どもに伝えれば良いか分からなかったのでこの講座があって良かったとの感想があり、子どもたちも電子マネーの良い点や悪い点があったとの感想があった。子どもは、半数以上が小学生1年生でよく理解して帰っていただいた。2回目のわが家のおこづかい契約書は、おこづかい制を開始するにあたっての約束等の契約書を作成する難しい内容だったが、親子で真剣に話し合っていた。親子で家庭の取り決めを話し合う時間がとりづらいのでこの講座が良いきっかけになっていた。2回目は、父親の参加が多く、家族で話し合う姿が見られた。

照井委員 親子の講座は、盛り上がると改めて感じた。親子のコミュニケーションは、お金を介在すると話しにくいと思った。日曜日は、父親の参加が多かったので親子のコミュニケーションを作れたのではないかと思った。意義のある講座だった。

宗像委員 父親が積極的に参加していた。講師は、講座を工夫していた。今後も小学生向けの講座は、夏休みの終わりに実施した方が良かったと思った。

岸川委員 公民館講座に小学生がこのような講座にきちんと参加し、親子でコミュニケーションをはかり、体験するのは良いことだと思った。

②市民映画会について

事業係長 8月17日に「世界の果ての通学路」を上映。午前・午後の合計91人が来場した。今後、担当は、公民館緑分館の金子が引き継ぐが、本館の企画実行委員には引き続きお手伝いいただきたい。報告については、私から行う。今後、冬に向かい日が短くなり、終了後は帰りが暗くなるため、午後の開始を早くして欲しいというご意見をいただいていた。異論がなければ午後1時か1時30分の開始として進めさせていただきたい。

照井委員 世界の果ての通学路についての映画の評価は、高かった。映画を見た方からは、非常に良い映画だったとの声が多かった。人気のある映画については、臨機応変に机の数を調整する等の工夫をして椅子を増やして欲しい。映画の上映開始時間については、お子さんも参加するため、早めに上映することは良いと思う。

生馬委員 映画の上映時間については、少し早めるのも必要かと思った。映画は、4つの国のドキュメンタリーで子供たちが2時間をかけ、危険を乗り越えて学校に行くという映画だった。子どもの学ぶという力のすごさと子どもの表情が良く、良い映画で感動した。

宗像委員 映画を見たご年配の方で映画を見て小学校で上映して欲しいという意見や子どもと一緒に参加したので机が配置されていて助かったとの意見があった。映画

の上映時間については、午後4時を過ぎると暗くなるので早い方が良いと思った。

照井委員 映画の内容について、改めて勉強とは別に友達というキーワードを子ども達が話していたので、友達づきあいという子どもの情操教育を育てるうえで重要と改めて感じた。

倉澤主任 映画は、内容的に小学生1年生でも分かるか？

宗像委員 幼稚園の子どもずっと見ていたので分かると思う。

照井委員 読売新聞に講座の記事が掲載され、小金井市の映画会について高く評価していた。

(2) 事業の計画

市民講座について

倉澤主任 江戸名所図会の挿絵に湧水をめぐる講座については、昨日から申し込みを開始し、定員が20人のところ現在11人の申込があり、間もなく満席となる見込みである。

保育付きの枠があと1つ残っているので9ページの資料のとおり温活の講座の実施を予定している。昨年の講座は、8月に夏の冷え対策の講座を実施したところ、定員30人のところ35人まで増やしたが、かなりの人数をお断りした。そのため、今年度は、冬の冷え対策の講座を実施予定。受講者に好評だったのは、前半講義、後半実践形式という形式で実施したことだった。実施時期は、11月後半から12月初めの土曜日の午前中で保育付きで実施予定。現時点で担当していただける企画実行委員は、荻込委員・生馬委員に決定する。

2 その他

事業係長 9月現在の予定表を改めて作成した。年度当初の担当企画実行委員等の欄で空欄の箇所を記載した。

和田が担当していた事務の後任は、菜園教室が小磯及び倉澤に、市民がつくる自主講座の男女共同参画部門を大久保、一般部門を小磯が引き継いだ。市民映画会は、公民館緑分館の金子が引き継ぎ、ITサポートを公民館緑分館が引き継いだ。

溝江非常勤 生きがい広場は、9月10日から再開し、担当の企画実行委員が岸川委員、10月8日の野外学習の担当の企画実行委員が生馬委員・岸川委員・照井委員・藤原委員に決定する。成人学校「ペットと幸せに暮らすために」は、9月7日から開始し、現在11人が申込でいる。担当の企画実行委員は、照井委員・生馬委員・藤原委員に決定する。

事業係長 毎年8月は、公民館運営審議会を開催していないため、本日、会議の報告は無い。今年、公民館運営審議会委員は、改選の時期にあたっており、34期の委員が任期満了となり、入れ替わりがある。

公民館貫井北分館の企画実行委員の小野委員が8月31日付けで解職となった。

小磯主査 市民アカデミー秋期を9月8日から毎週日曜日の午後に連続8回公民館貫井南分館で実施する。担当の企画実行委員は、春期と同じ生馬委員・岸川委員・照井委員・藤原委員に決定する。

照井委員 今回、初めて定員に満たなかった。新しい試みで実施日を日曜日にして、実施場所を公民館貫井南分館で実施する。若い人は、申し込んでいるか？

小磯主査 50代が申し込んでいる。

溝江非常勤 生きがい広場について、昨日連絡があり、体調不良でキャンセルがあり、補欠を繰上げて新しい人が1人入っている。

照井委員 企画実行委員になって1年がたった。企画実行委員の成り立ちや歴史の講義を受けたが、特にスタートしている講座の講義をあまり受けなかったのが、講座における企画実行委員の役割を理解していなかった。例えば、市民アカデミーは、準備委員会から参画したので分かっていたが、その他の講座に参画して講座の経緯等の説明があれば残りの任期を頑張れると思う。

岸川委員 当初から市民アカデミーに参加していた。長期にわたる講座については、準備会を実施して欲しい。高齢者学級は、振り返りの会を実施している。

事業係長 検討いたしたい。

苅込委員 高齢者学級は、以前、2月頃に準備会を実施していたが、参加者が少なかった。貫井北分館でも実施しているが、人が集まらなかった。準備会を実施しなくても講座のアンケートや企画実行委員で煮詰めていく方法もあると思う。最低限、企画実行委員を入れてもらえれば、良いと思う。企画実行委員は、市民目線で意見が言える。

岸川委員 決定事項としては、冬を元気にのりきる温活のススメの担当企画実行委員として、苅込委員・生馬委員に決定した。市民映画会の上映開始時間については、遺漏がなければ午前10時30分と午後1時から午後1時30分の開始で進める。

次回会議：10月1日（火）午前10時から公民館本館学習室Aにて